

令和3年度 第2回 横浜市鶴見区地区センター及び横浜市鶴寿荘指定管理者選定委員会	
日 時	令和3年8月12日(木) 13時30分から16時15分まで
開 催 場 所	鶴見区役所 1階予防接種室
出 席 者	峯尾委員長、兼子委員、金子委員、烏田委員、坂田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者5名)※一部非公開
議 題	横浜市駒岡地区センター、横浜市潮田地区センター、横浜市末吉地区センター、横浜市寺尾地区センター及び鶴寿荘の指定管理者の候補者の選定について (応募団体によるプレゼンテーション、質疑応答、審査、採点)
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市駒岡地区センターの指定管理者の候補者として「アクティオ株式会社」を選定した。 2 横浜市潮田地区センターの指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。 3 横浜市末吉地区センターの指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。 4 横浜市寺尾地区センター及び横浜市鶴寿荘の指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」を選定した。
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数及び会議の公開の確認 5名が出席しており委員会が成立している旨、事務局から報告。 第1回委員会での決定のとおり、応募団体によるプレゼンテーションと質疑応答については公開で実施し、その後の審査・採点については非公開で実施する旨、確認。 2 応募状況の確認 応募者説明会・見学会への参加状況及び、応募状況について事務局から報告。 また、応募団体が暴力団またはその構成員の統制下にある団体でないこと、市税の納付が確かに行われていることについて確認済みの旨、事務局から報告。 3 委員会のスケジュールについて説明 資料「タイムスケジュール」に基づき、事務局から説明。 4 指定管理者の候補者の選定について (1) 駒岡地区センター ア 応募団体(アクティオ株式会社)によるプレゼンテーション イ 質疑応答 (委員)「現指定管理者の実績評価のための書類」の中でインターネット予約システムの導入は未実施だが利用者ニーズに応えられるよう予約方法を見直したとあるが、どのように見直されたのか。

(団体) インターネット予約システムの導入について、過去3年間に渡って利用者アンケートをとったところほとんどの方からご希望がなかった。昨年度までは応当日予約といって、利用日の2か月前に来館しないと予約できない方法だったが、それを応当日の2週間前から来館時に申請すれば抽選に参加できるという方法に変更した。利便性や公平性を高めた。大変喜ばれており、参加者数は増加している。

(委員) こども食堂を始めたきっかけについてお聞きしたい。

(団体) 始めようと思ったのは7年前。公共の施設なので稼働率をいかに高めるかが課題だと思っていた。たまたまTVで6人に1人の子供は貧困というニュースを観て、勉強したことがきっかけ。施設の有効利用もできるし地域貢献もできると考え、1年間準備をして活動を開始した。

(委員) こども食堂の名前は。

(団体) 「駒岡丘の上こども食堂」と呼んでいる。

(委員) 「平成30年度第三者評価」の中で利用者アンケート等の調査結果の分析について、職員の接遇について平成29年度の評価で「普通」が30%となっており、これを受けて接遇において改善をすると回答しているようだが、実際にはどのように対応を行ったのか。

(団体) 「普通」という評価は評価してもらえていないと私共は考えている。感動も印象も与えていない。我々が「これは当たり前のことなのだから利用者が知っていて当たり前、このようにやっていただくのが当たり前」というような考え方を撤廃する。「知らなくて当たり前、わからなくて当たり前」という姿勢で利用者へのサービスを行う。そのような考え方をスタッフみんなが持つように教育している。月に1回スタッフミーティングを行っており、その際に毎回同じような話をしている。スタッフ全員が相手を慮って仕事を行うことが大切だと考えている。

(委員) 自主事業で「こどもごみ削減エコ講座」というのが提案されている。これまでもこのような講座をやられているのかもしれないが、子どもたちは集まるか？

(団体) 20名集まることはあまりないが、夏休みなどでうまくいけば10数名集まることもある。やればすぐに満席になるという講座ではない。

(委員) ぜひこういうものを活発にやってもらいたい。

(委員) SDGsを意識してやられているようだ。地域の個別性と共通性があるかと思うが、全国展開されていて、SNSの活用なども提案されているが、人が集まるという部分の課題について何かとらえているか？

(団体) SDGsについては17項目すべてを地区センターができるものではないと認識しており、平等や貧困解決などできる範囲のものだと思っている。先ほどもインターネット予約の話があったが、特に年配者の要望が少ない。そういう意味では導入すると逆の意味で平等性が失われる可能性があるもので、ニーズが上がってくるまではやらない。横浜市内では8か所で施設運

営を行っており、他の施設ではインターネット予約を導入しているのに、システム自体は完備している。今のところはあえて止めている状況。一方で、SNSは年配の人には向かないが、こども食堂などはFacebookを見て参加してくれる人もいます。SNSはいろいろな告知ツールの1つとしてとらえている。

(委員) 駒岡でインターネットの活用が進まない理由は何だと思うか。

(団体) 明確な理由はわからないが、他の地区センターを利用している方からあまり使い勝手がよくないなどの話を聞くことがある。インターネット予約を導入しなくても予約方法を見直したことで、ご理解とご支援をいただいている。

(委員) 年配の方は情報弱者であることが多いので不利にならないようにしてほしい。

(2) 潮田地区センター

ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション

イ 質疑応答

(委員) 利用料金収入の増加のための方策として、新たな利用サークルを開拓するという提案されているが、既存のものにプラスして何か方法があるのか。また、Zoomやインターネット配信を利用した事業についても具体的に教えていただきたい。

(団体) 利用料金収入を上げるためには稼働率を上げる必要があり、そのためには新規団体を開拓する必要があると考えている。まずは、インターネット予約の利便性について周知したい。また、従来紙ベースで行っていた広報についてもインターネットの活用を検討したい。さらに、これまであまり行ってこなかった現役世代や男性向けの事業にも取り組んでいきたい。そういったことを通じて、事業に参加した人が継続的に利用してくれるようにしていきたい。

Zoom等の活用については、「つるみみらい会議」はオンラインで同時開催できないかという要望もあるが、まだ対応できていない。現状は内部回議などをZoomでやっている。次期5年間のうちできるだけ早い段階でオンラインでの事業を行いたい。

(委員) インターネット予約の利用状況について伺いたい。

(団体) 9割以上がインターネット予約を利用している。インターネット予約ができない団体は5つぐらいしかない。それらの団体については職員が代わりに入力を行い、不利益にならないようにしている。

(委員) 一般的にインターネット予約というのは離れた場所からでも申込ができるということだと思うが、スタッフによる代行入力というのは窓口に来て行うのか。

- (団体) 5団体ぐらいはそうにしてもらっている。
- (委員) 想定しているターゲット層について伺いたい。
- (団体) オープン当初は子どもや専業主婦が多かったが、現在、その専業主婦だった人たちが高齢者となっている。従来の地区センターのメニューでは働き世代に利用してもらえない。
- (委員) 稼働率を1%ずつ伸ばしていくとの提案があったが、そのターゲットは現役世代、男性ということでよいか。
- (団体) 自主事業についてはそのとおり。体育室は全世代が利用している。
- (委員) プレゼンテーションを拝見して、誰を対象にするのかということや、世代間交流や「みんなとつながるまちづくり」などのミッションにどう繋がるのかが少しわかりにくかった。
- (団体) 今まで地区センターをご利用いただけなかった新しい層を取り込んでいきたい。
- (委員) 稼働率を上げるためには地域の協力が不可欠だと思うが、地域にはどのように働きかけているのか。
- (団体) 運営団体の母体が自治会なので、自治会とは常々連携している。また、複合施設内の他の施設ともすでに連携は行っている。一方でこれまで、沖縄関係の団体やNPOなどとあまり繋がれていなかったもので、今後はそのような団体と連携を深めていきたい。

(3) 末吉地区センター

ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション

イ 質疑応答

- (委員) 自主事業を活発に行っており、地域の人たちに講師を依頼しているようだが、講師は見つかるか。
- (団体) お友達のお友達や町会からの紹介などで見つけられている。
- (委員) 自治連合会の協力が得られていることで、良い影響はあるか。
- (団体) いつも会長には相談させていただき、情報共有をしている。
- (委員) 末吉地区センターは鶴見川に近いが、大雨等の災害時の対策などは考えているか。
- (団体) 末吉地区センターは鶴見川に近く低い場所にあるので避難場所にできないと認識している。何かあった際に人が来館した場合には対応し、行政と連絡を密にとりたい。公共施設なので人が来ることはある程度想定している。
- (委員) インターネット予約を導入されたとのことだが、利用者が慣れるまでにどれくらいの時間がかかったか。
- (団体) 導入までに1年半ほど期間を設け、説明会等を行ってきた。導入して1年ぐらいで慣れてもらえたように思う。現在では大きな混乱もなく予約シス

テムは稼働している。

(委員) インターネット予約はいつから導入したのか。

(団体) 令和元年度分の予約から導入した。

(委員) 毎月1日に受付を開始するのか。

(団体) 1日に受付を開始し8日に一斉抽選を行い、9日に結果を連絡する。

(委員) 増収策について伺いたい。予算書を拝見すると収支が±0となっているが、収入が増える見込みはあるのか。

(団体) 現状から考えて令和4年度の増収は難しいと考えている。指定管理期間の後半で利用料金を増やしていきたい。

(委員) 自主事業の収入と支出が同額ということなので、自主事業からは収入は得られないのではないのか。

(団体) 指定管理期間の後半に講座回数を増やすなどしながら増収を図りたい。

(委員) 自主事業の参加料について、金額によって参加者数は変わってくるのか。

(団体) 地域性もある。他の地区センターでは集まっても、末吉では同じ企画で同じ金額でも集まりにくいということはある。

(委員) 末吉地区の課題として高齢化を挙げられていたが、自主事業の内容を見ると子ども中心に見える。高齢者向けのものが少ないようだが。

(団体) 高齢者も含めてすべて必要な事業だと考えている。ケアプラザとの協働事業なども力を入れなければいけないと思っている。

(4) 寺尾地区センター及び鶴寿荘

ア 応募団体（特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会）によるプレゼンテーション

イ 質疑応答

(委員) 地区センターとしての役割は活発で良いと思っている。老人福祉センターとしての役割について、立地が原因で寺尾地域の高齢者の利用が中心になっているのではないか。線路の反対側からは行きづらい。運営協議会の運営委員について、「多方面から招聘」とあるが、この多方面というのは活動分野を指しているのか、それとも地域的なことを指しているのか。区内で唯一の施設なので、活用してもらえないのが残念。

(団体) バスの便は非常に良く、鶴見駅西口から約8分で着く。海側や川側からは遠く、線路を越えるのは大変かもしれない。図書館についても同じような声を聞いており、その分図書については力を入れている。運営委員は全区からというよりは馬場、寺尾地区の方が中心となっている。

(委員) 利用者の来館方法は車や徒歩か。

(団体) 徒歩、バス、自転車を中心。

(委員) 時々利用させていただくが、この間観光ガイドブックを借りようと思ったが非常に古かった。できれば新刊も入れていただければありがたい。

(団体) 承知した。

	<p>(委員) 図書購入費で年間5万2,000円を見込まれているが、どのような図書を購入するかについて検討する委員会などがあるのか。</p> <p>(団体) 運営団体の本部で貸出冊数の多い図書などの情報を収集しており、それをもとに購入図書を決定している。</p> <p>(委員) 貸出冊数は少ないかもしれないが、辞書やガイドブックなど定期的な更新が必要なものにも目を向けていただければ。</p> <p>(団体) 承知した。</p> <p>(委員) 地域特性について中学校や高校があり文教地区のようだが、青少年のニーズにはどのように応えているのか。</p> <p>(団体) 小学生については夏休みに木工教室や科学捜査の教室等を企画している。中学校は部活の関係でなかなか集まってもらうことが難しい。もっと小さなお子様向けであれば、親子で楽しむハンドメイドや簡単な料理教室などの事業を企画している。</p> <p>(3) 団体の財務状況について 「アクティオ株式会社」「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」について、いずれも財務状況が健全である旨、坂田委員から報告。</p> <p>(4) 審査結果</p> <p>ア 駒岡地区センター 「アクティオ株式会社」が合計得点で638点/775点を獲得した。最低基準点(465点)を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p> <p>イ 潮田地区センター 「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で623点/775点を獲得した。最低基準点(465点)を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p> <p>ウ 末吉地区センター 「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で615点/775点を獲得した。最低基準点(465点)を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p> <p>エ 寺尾地区センター及び鶴寿荘 「特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会」が合計得点で645点/800点を獲得した。最低基準点(480点)を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p>
資 料	タイムスケジュール